

関東地方整備局における建設現場の遠隔臨場 ～インフラ分野のDXを推進し、建設現場の働き方改革、生産性の向上を期待～

令和4年6月1日時点

〈令和4年度 建設現場の遠隔臨場の実施方針〉

- **令和4年6月よりすべての工事を対象に本格的な実施に移行**（令和4年1月に先行して策定した方針と同じ）
 - ・ 工事発注規模1億円以上の工事は、原則、「発注者指定型」により全て実施。
 - ・ 工事発注規模1億円未満の工事は、立会頻度が多いなど遠隔臨場の効果が期待出来る工事を、発注者指定型により実施。
なお、契約後に受注者へ意向を確認し協議の上、「発注者指定型」により実施も可能。
- **発注者側の標準的な通信環境の仕様を示すことで、通信接続問題の解消の一助になり、また民間の技術開発の発展・促進につながることに期待**

- 配信システムは「パッケージ化されたシステム」、「情報共有システム(ASP)」、「web会議システム(teams、zoom等)」等を利用。
- 動画撮影は撮影者の安全を確保するため、静止して撮影又はカメラを撮影者のヘルメットや胸ポケットにつける等の安全に配慮。

〈実施件数〉

令和3年度の遠隔臨場の試行・・・514工事(36事務所) — 202工事(令和4年3月末時点 完成工事)
 312工事(令和4年3月末時点 試行中工事)

令和2年度の遠隔臨場の試行・・・166工事(31事務所) — 73工事(令和3年3月末時点 完成工事)
 93工事(令和3年3月末時点 試行中工事)

配信システムに関する仕様

項目	仕様	
通信プロトコル方式及びポート番号	TCP	80,443
	UDP	なし
利用環境	OS	Windows10
	ブラウザ	Internet Exploer11(R4.6まで) Microsoft Edge
	アプリケーション	アプリケーションのインストールは原則行えません。

〈成果〉

- ・ 監督職員は、職場の自席や在宅勤務でも立会いが実施可能となった
- ・ 施工者は、待ち時間等がなくなり効率的に立会いが実施可能となった
- ・ 立会い以外の現場状況の説明等にもリモートで実施可能となった



**受発注者ともに
人との接触機会が軽減され、働き方改革にも寄与**

現場での受注者による撮影状況



ウェアラブルカメラにより撮影

リモート(遠隔)で監督を実施

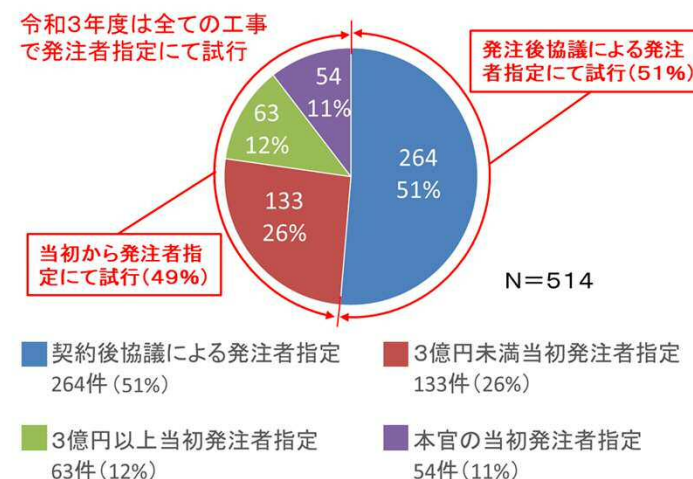


執務室での監督職員による確認状況



リアルタイムで映像を確認

令和3年度 遠隔臨場の試行区分 R4.3末時点



▲ 令和4年2月17日 久慈川緊急治水対策河川事務所の工事
 (久慈川緊急治水対策河川事務所は、発注した全工事で遠隔臨場を試行)